

## 中間子

中間子 ちゅうかんし

強い相互作用をする粒子（ハドロン）のうち、バリオン数が0の粒子を中間子という。かつては、核子よりも軽く、電子よりも重い素粒子を一括して中間子と名づけたが、核子より重い中間子も発見されており、現在は上記の定義に従うものを中間子とよぶ。最初の中間子（ $\pi$ 中間子）は1934年湯川秀樹によって理論的に導入され1947年実験的に確認された。以後、ロチェスターとバトラーにより1947年にK中間子が、1960年代に入って高エネルギー加速器によって $\eta$ 、 $\rho$ 、 $\omega$ 、 $\phi$ 等の各種の中間子が発見された。1974年に発見されたチャームクォーク（c）や、その後、発見されたボトムクォーク（b）を含む中間子も次々と発見されている。クォークモデルによると中間子はクォークと反クォークの対でできている。

---

<登録年月>

1998年02月

---

---